

パブリック・コメントに対する市の考え方

No	目次					対 応	御意見等の概要	御意見等に対する市の考え方
	編	章	節	項	号			
1	1	1	1	-	-	一部修正	<p>1. H17年6月基本構想の見直しであることの記載 行政文書としての基本構想の構成（書き方）があるのかもしれませんが、序論に「はじめに」とか入れていただき、見直しであることや簡単な経緯を記載されるとわかりやすいのではないのでしょうか。</p>	<p>ご指摘を踏まえ、「第1編 第1章 第1節 計画策定の趣旨」に下記のとおり記述を追加することで、見直しであることの簡単な経緯を整理させていただきたいと考えます。</p> <p>【変更前】 薩摩川内市総合計画は、薩摩川内市まちづくり計画を可能な限り尊重するとともに、将来の発展に向けて、今後10年間の本市まちづくりの指針として新たに策定するものです。</p> <p>【変更後】 第1次薩摩川内市総合計画は、薩摩川内市まちづくり計画を可能な限り尊重するとともに、将来の発展に向けて、今後10年間の本市まちづくりの指針として策定されたものですが、社会経済情勢の急激な変化に弾力的に対応するため、基本構想の一部を変更するとともに、下期基本計画を新たに策定します。</p>
2	-	-	-	-	-	原案のまま	<p>2. 相違点・変更点の比較図等（見直しのポイント）の記載 当初構想とどこが違うのか一目でわかる比較図等入れていただくとわかりやすいのではないのでしょうか。</p>	<p>ご指摘の相違点・変更点が分かるような見直しのポイントについては、「第1編 第2章 第3節 総合計画の策定方針」として記述させていただいており、『1 薩摩川内市まちづくり計画を踏まえた計画』、『2 「情報の共有」・「協働」・「参画」の実践による、つくる過程を大切にしたい計画』、『3 これまでのまちづくりに対する振り返りを踏まえた計画』、『4 都市文化ゾーン、田園文化ゾーン、海洋文化ゾーンの振興方向の具体化』、『5 外部環境の急激な変化を踏まえた計画』の5つのポイントに基づき、本文の一部について変更しているものです。</p>
3	2	1	3	-	-	一部修正	<p>3. 体系図への重点的取組の記載 当初構想と比較すると体系図は同じで変わっていない印象を受けます。しかし、よく読むと今回重点的取組が追加されており、見直されていることがわかります。あまりスペースはないようですが、見直されていることがわかるように、体系図に重点的取組み事項等変更点を簡潔に記載されてはいかがでしょうか。</p>	<p>ご指摘を踏まえ、体系図に下記のとおり「重点的取組のキーワード」を記載することとします。</p> <p>【重点的取組のキーワード】 1 協働・参画 2 安心・快適 3 活力・交流 4 人材・組織育成 5 スピード・品質</p>
4	1	3	-	3	-	一部修正	<p>4. ツーリズムについて 重点的取組の活力に、現在本市で取組まれているグリーン・ツーリズムやブルー・ツーリズムの記載がありますが、ご存知のように、ツーリズムにはこの他、リバー・ツーリズムやエコ・ツーリズムなどがあります。本市の資源である川内川や蘭牟田池、小比良池や裸島池のオニバス、唐浜のウミガメなどを活用したこれらのツーリズムも実施可能かと思われます。今後を考え幅広い記述にされたらいかがでしょうか。</p>	<p>ご指摘を踏まえ、幅広い記述とするよう下記のとおり修正いたします。</p> <p>【変更前】 地域特性を活かした滞在体験型観光（グリーン・ツーリズム、ブルー・ツーリズム※）の推進や文化・スポーツ交流、国際交流等を活発に行い、交流躍動のまちづくりを進めます。</p> <p>※グリーン・ツーリズム、ブルー・ツーリズム⇒農山漁村地域において自然、文化、人々との交流を楽しむ滞在型の余暇活動のこと。 欧州では、農村に滞在しバカンスを過ごすという余暇の過ごし方が普及しており、英国ではルーラル・ツーリズム、グリーン・ツーリズム、フランスではツーリズム・ベール（緑の旅）と呼ばれている。</p> <p>【変更後】 地域特性を活かした滞在体験型観光（グリーン・ツーリズム、ブルー・ツーリズム等）の推進や、文化・スポーツ交流、国際交流等を活発に行い、交流躍動のまちづくりを進めます。</p> <p>※グリーン・ツーリズム、ブルー・ツーリズム等⇒農山漁村地域において自然、文化、人々との交流を楽しむ滞在型の余暇活動のこと。 欧州では、農村に滞在しバカンスを過ごすという余暇の過ごし方が普及しており、英国ではルーラル・ツーリズム、グリーン・ツーリズム、フランスではツーリズム・ベール（緑の旅）と呼ばれている。 その他、川遊び体験や清流景観の鑑賞など、川の恵みとのふれあいにより、訪れる人々に感動を与えるリバー・ツーリズムや、自然観光資源について知識を有する者から案内又は助言を受け、自然観光資源の保護に配慮しつつ触れ合い、知識及び理解を深めるエコ・ツーリズムなどがある。</p>